
平成20年度(第52期)決算説明資料

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)



2009年6月26日

<目次>

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略	2
(2) 事業の取り組み内容について	3
(3) 売上高および営業利益の推移	4
(4) 品目別売上高の推移	5
(5) 収益関連指標	6
(6) 総資産・純資産	7
(7) 配当政策	8
(8) 利益配分の方針	8

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境	9
(2) 諸施策	10
(3) 業績の見通し	11

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	08/3期	09/3期	前期比(%)	08/3期	09/3期	前期比(%)
売 上 高	13,094	11,231	85.8	11,696	9,719	83.1
営 業 利 益	△ 44	△ 326	—	△ 67	△ 144	—
経 常 利 益	1	△ 418	—	△ 21	△ 143	—
当 期 純 利 益	△ 886	△ 495	—	△ 872	△ 212	—

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	08/3期	09/3期	増減	08/3期	09/3期	増減
資 産	10,737	9,503	△ 1,234	9,724	8,807	△ 917
負 債	4,745	4,123	△ 621	4,465	3,791	△ 673
純 資 産	5,992	5,379	△ 612	5,259	5,015	△ 243
総 資 産	10,737	9,503	△ 1,234	9,724	8,807	△ 917

(2) 事業の取り組み内容について

・ 営業

- ・ お得意様への販売価格交渉並びに新分野への市場開拓

・ 製造、購買

- ・ 子会社の生産拠点の統廃合を進め、生産効率を高める。
- ・ 急激な受注の減少にあわせ、工場の稼働調整を行い、総人件費の圧縮を行う。

・ 研究開発

- ・ 環境にやさしい省エネ、低騒音の製品開発
(小型・低消費電力となるDC(直流)ポンプ及びモータの開発)
- ・ ポンプ応用技術を活かしたユニット製品の開発(マイクロバブル発生装置 他)

・ その他

- ・ 金融商品取引法で求められる内部統制システムの適正な運用

・ 特別要因

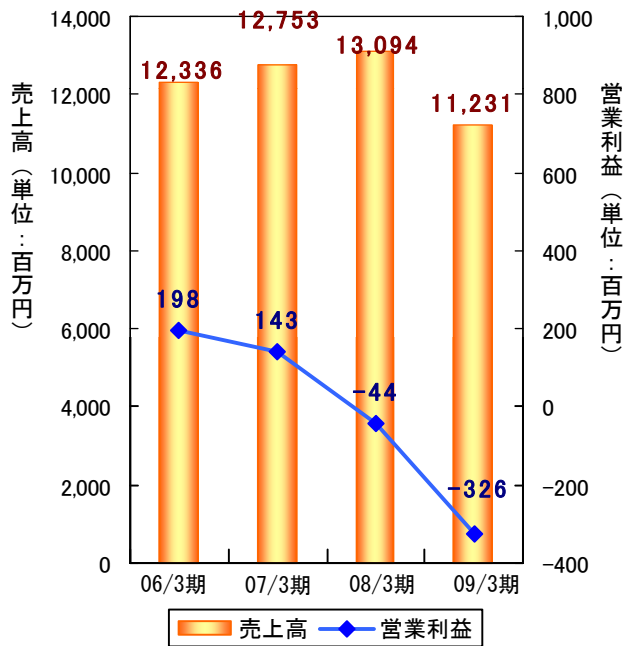
- ・ 為替、株式市場の価格変動により、為替差損、投資有価証券評価損を計上



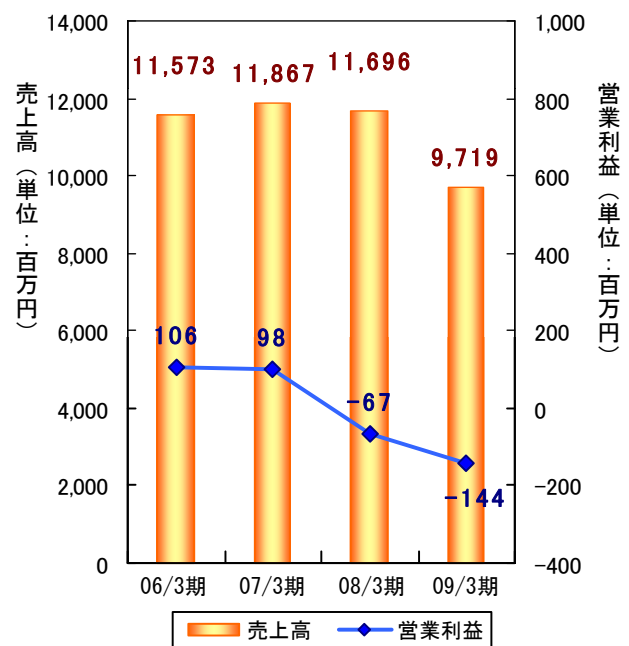
(3) 売上高および営業利益の推移

- ・売上高においては、第3四半期以降世界同時不況により、前年同期と比べ2割以上の受注減となる。
- ・営業利益においては、人件費等の圧縮を進めてきたが、大幅な受注減による付加価値の減少を補えず営業損失となる。

【連結】



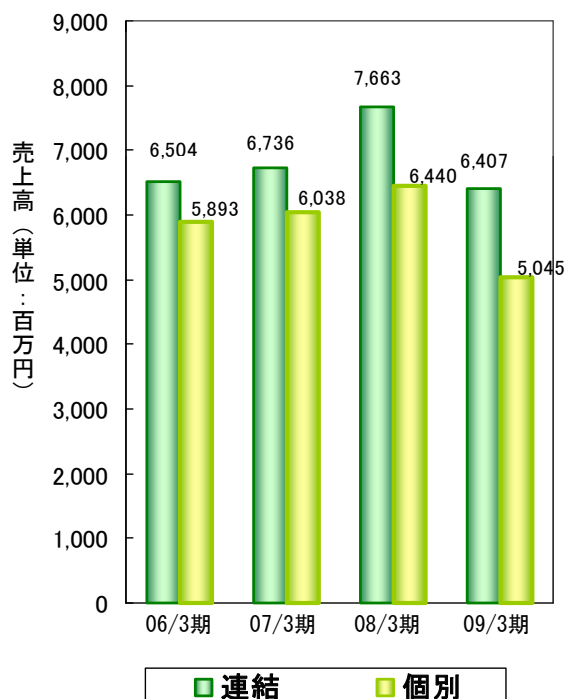
【個別】



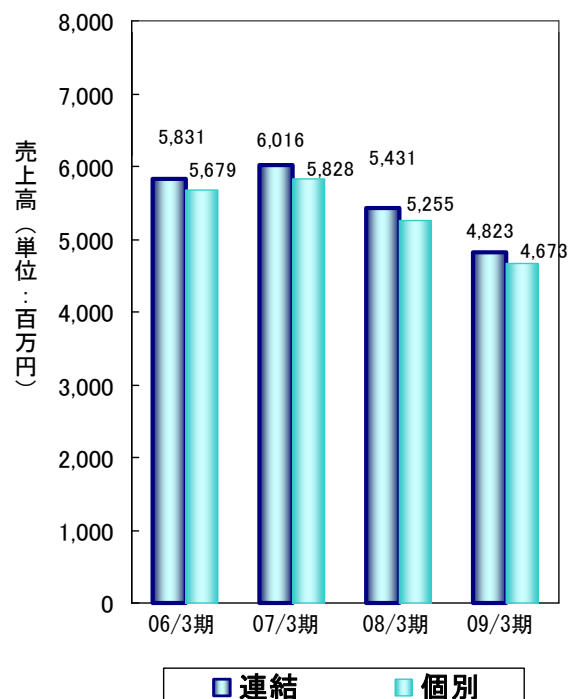
(4) 品目別売上高の推移

- ・モータでは、エアコン用モータの減少に加え、設備投資の抑制により工作機械用モータが大幅に減少
- ・ポンプにおいても、半導体製造装置用ポンプや住宅設備用ポンプなどが市場の冷え込みにより減少

【モータ】



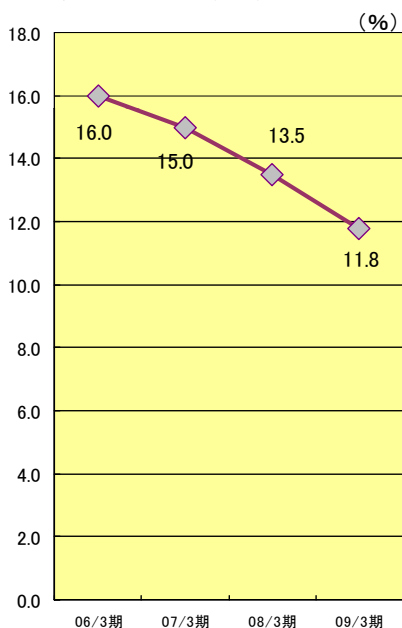
【ポンプ】



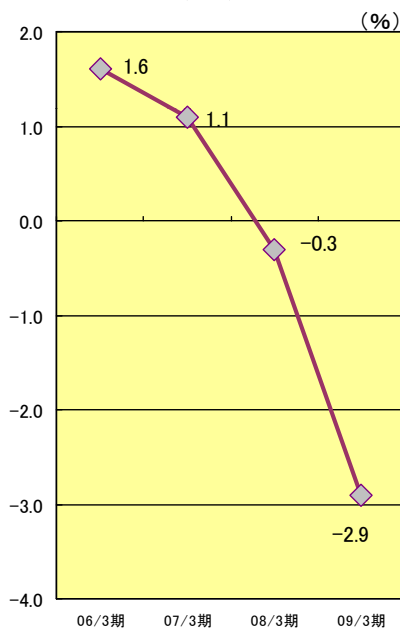
(5) 収益関連指標(連結)

- ・人件費の圧縮等諸経費の削減を進めるが、急激な受注減少に生産体制の再編が間に合わず、製造原価を高める。
- (08年3月期は、繰延税金資産の取り崩しを行い、当期純損失を計上している。)

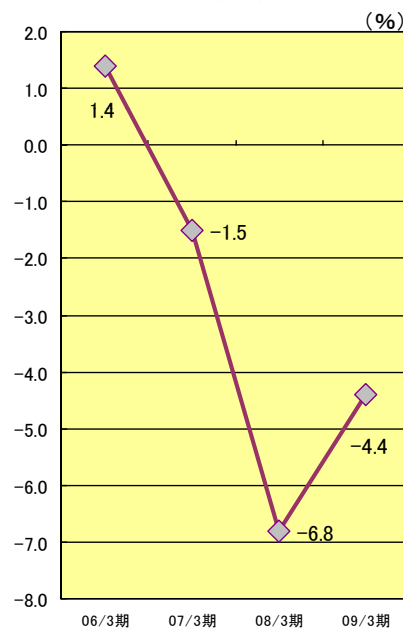
■ 売上総利益(率)



■ 営業利益(率)



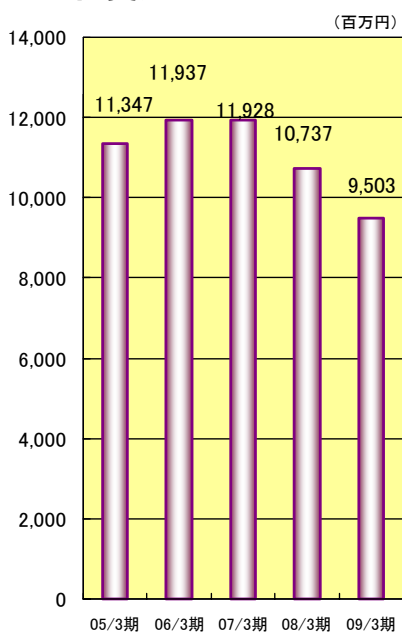
■ 当期純利益(率)



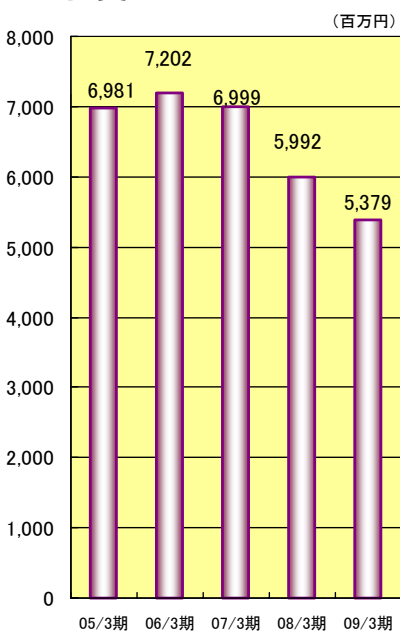
(6) 総資産・純資産(連結)

- ・流動資産については、主に受取手形及び売掛金、たな卸資産が減、現金及び預金が増となる。
- ・固定資産については、有形固定資産が減となる。
- ・負債については、流動負債の支払手形及び買掛金、固定負債の退職給付引当金が減となる。
- ・純資産については、利益剰余金、為替換算調整勘定が減となる。

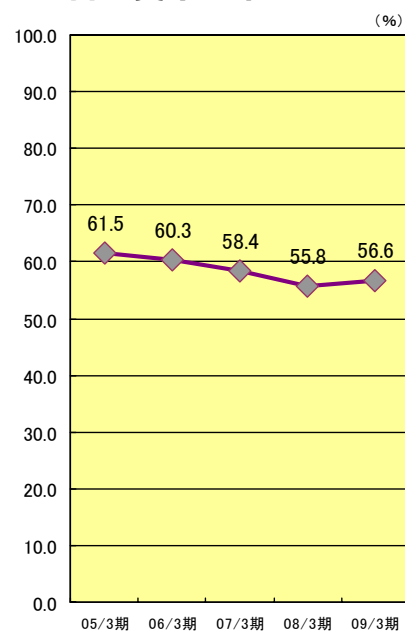
■ 総資産



■ 純資産



■ 自己資本比率



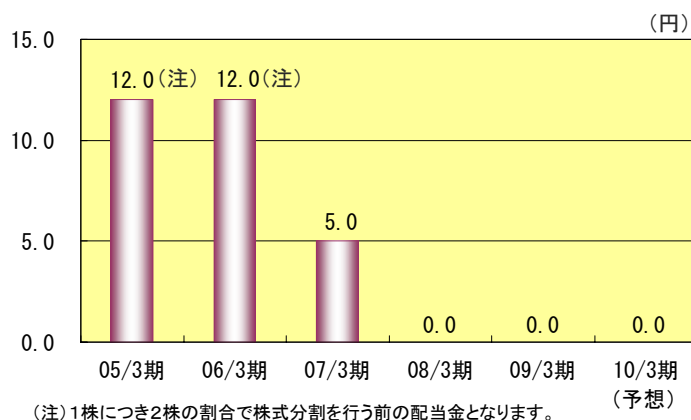
(7) 配当政策

利益配分については、株主および一般投資家への企業責任の重大性を十分に認識し、業績の伸長を勘案し極力配当性向を高め、かつ維持しながら弾力的な利益還元を行うとともに収益力の向上を目指し、内部留保金についても有効投資に活用し、収益向上に取り組んでいます。

(8) 利益配分の方針

09年3月期の配当については、誠に遺憾ながら無配を決定しています。次期の配当については、現状の業績等を考慮し無配の予想としておりますが、今後業績を向上させ安定的な配当を行うように努めていきます。

配当金の推移



平成19年2月1日をもって1株につき2株の割合をもって株式分割を行っています。

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境

◆ 経済状況

- ・ 世界経済の早期回復が見込まれないなか、当社の関係する業界は引き続き低調に推移し、非常に厳しい経営状況が続くものと考えられる。

◆ 業界動向

- ・ 家電業界では、政府の緊急経済対策により一部に明るい兆しはあるが、総じて低調である。
- ・ 工作機械分野では、企業の業績悪化を受け設備投資を抑制していることもあり、厳しい状況が続く。
- ・ 住宅設備分野では、政府主導で導入を進めているエコキュートなどが堅調に推移しているが、その他の設備については、住宅着工件数の減少もあり厳しい状況である。
- ・ モータ、ポンプとも低消費電力となるDC（直流）製品への需要が増加傾向となる。

(2) 諸施策

・ 営業

- ・ 環境意識の高まりにより、低消費電力となるDC（直流）モータおよびポンプの拡販を行い、受注回復を図る。
- ・ ユニット製品の販売で新規市場を開拓し、落ち込んだ既存製品の売上をカバーする。

・ 製造、購買

- ・ 生産拠点の再編を行うとともに、生産リードタイムを短縮することで、仕掛品在庫の圧縮を進める。
- ・ グローバルな部材の調達を進めコストダウンを図る。

・ 研究開発

- ・ 独創的な製品開発を行い、市場での優位性を築く。
- ・ 環境に適合した低消費電力のDC（直流）モータ・ポンプのシリーズ化を進め、市場のニーズに応える。

・ その他

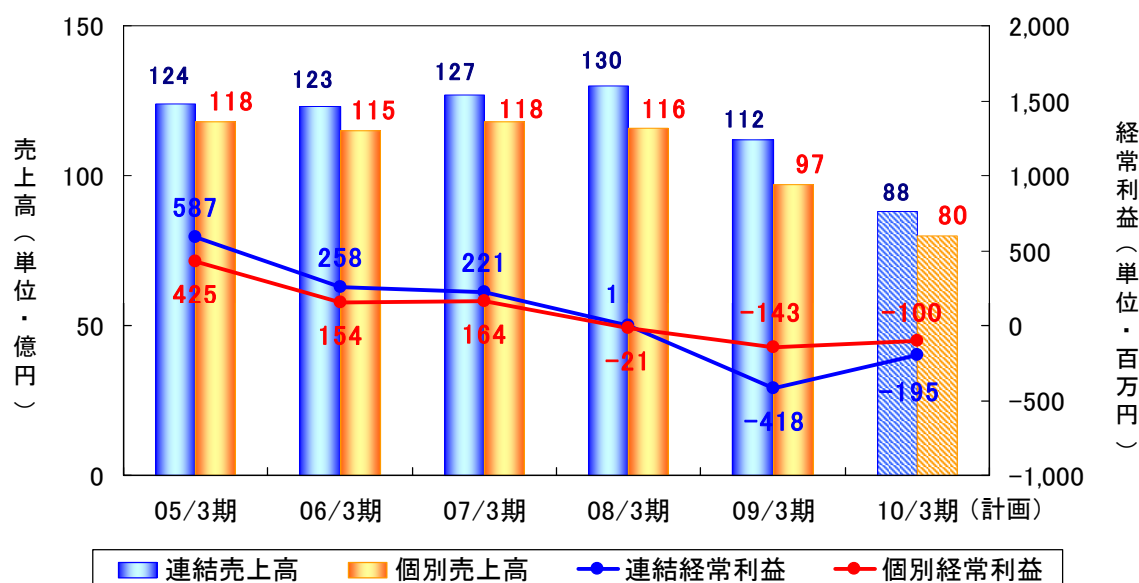
- ・ 特別早期退職優遇制度を実施し、受注に見合った適正人員の生産体制を確立する。

baboon



(3) 業績の見通し

[売上高・経常利益のグラフ]



売上高：第3四半期以降、新製品の販売により、落ち込んだモータとポンプの受注をカバーしていく。

経常利益：人件費等の固定費削減を進めるが、売上高の減少をまかないきれずに経常損失を見込む。

おことわり

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在（平成21年6月）入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

また平成21年6月17日付けで「早期退職者の募集に関するお知らせ」を開示しており、今後応募人数により発生する費用の増減が考えられますが、業績に与える金額の影響が確定した時点で速やかに業績予想の修正をいたします。

（ここに掲載している計画や予想数値には反映していません。）

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承下さい。

お問い合わせ先

三相電機株式会社
統括管理部 経営企画課
〒671-2288
兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号
TEL 079-266-1200
FAX 079-266-1206
E-mail sanso@sanso-elec.co.jp